業務提携

丸紅グループが
民泊運営会社へ出資

不動産運営管理の丸紅リアルエステートマネジメント（MREM）は、大阪拠点の民泊運営会社のグランドゥースへ出資した。これを通じ、すでに参入している民泊ビジネスを強化していく。

グランドゥースは東京、大阪、福岡で約40施設の民泊施設を運営する大手民泊事業者。2019年10月には既存の民泊ブランドを新しく「STAY＆GO」に刷新している。

なお、MREMは、18年から民泊事業に新規参入。19年には戸建て、マンションにて民泊営業を開始し、高稼働を維持している。

出資は2019年9月、親会社の丸紅と共同で、APAMAN子会社のApaman Propertyよりグランドゥースの普通株式44％を取得した。

MREMは今回の出資により、民泊運営のノウハウを蓄積し、オーナーへの提案の幅を広げるとともに、事業を収益の柱として成長させる方針だ。